

研究成果一覧（当年度）

1. 本郷正武・佐藤哲彦編，2023，『薬害とはなにか——新しい薬害の社会学』ミネルヴァ書房。
（第1章：佐藤、第2章：本郷、コラム3：佐藤、推薦図書：矢崎、薬害年表：矢崎）
2. 本郷正武，2023，「埋もれた薬害——クロロキン薬害の「不在」を考える」2023年5月14日，京都先端科学大学，第74回関西社会学会大会。
3. Akihiko, Sato，2023，"Between Promoter and Obstructionist of Vaccination: Vaccine-induced sufferings and anti-vaccination discourse in Japan", Session 379. Language on Health Under COVID-19 Pandemic. Part III, June 30th, 2023, *ISA World Congress of Sociology*, Melbourne, Australia.
4. 佐藤哲彦，2023，「反ワクチン論とワクチン薬害——陰謀理論時代における薬害言説の困難をめぐる考察」，テーマセッション「新しい薬害」の外延を探る，2023年10月18日，立正大学，第96回日本社会学会大会。¹

¹ なお、これらはいずれも学術振興会による科研費研究（分担者、課題番号 23H00892）との合同の成果である。